artience

artience株式会社のご紹介

(旧東洋インキSCホールディングス株式会社)

artience株式会社 (証券コード4634)

個人投資家様向け説明会 2024年4月13日

本日お伝えしたいこと

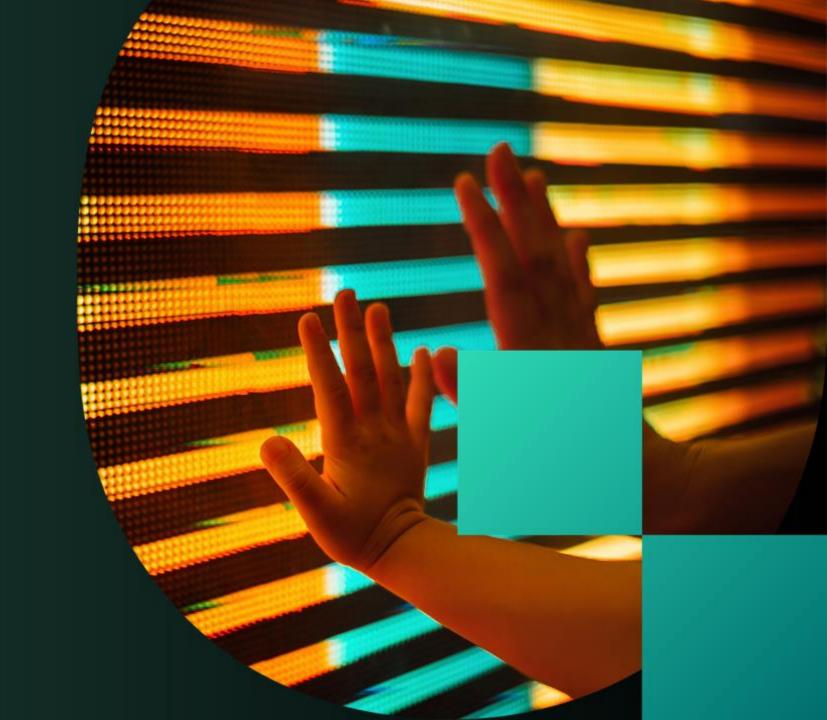
1 新社名artienceへ変更、会社を変えていきます

2 EV向けリチウムイオン電池用材料が成長の柱です

3 安定配当と利益成長に合わせた株主還元水準の向上を目指します

本日のご説明内容

- ■会社概要
- ■今後の事業展開
- ■株主還元



artienceについて

創業128年、24か国で事業展開する化学メーカーです



- 創業:1896年(明治29年)1月
- 本社:東京都中央区京橋
- 売上高:3,221億円
- 社員数:7,836人
- グループ会社数:62社
- 株式:東証プライム (4634)
- 決算期:12月
- 資本金: 31,733,496,860円

(2023年12月末現在・連結)

動画



社名を変更しました

2024年1月から新社名「artience株式会社」

東洋インキSCホールディングス株式会社

artience株式会社

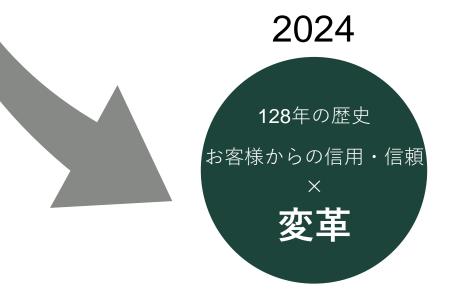




なぜ社名を変えたのか-変革に向けて-

1896 創業 印刷インキメーカー

2011 スペシャリティケミカルメーカー



artience

"感性に響く価値"を届ける会社へ

Art

X

Science

人の心・感性に届く価値

機能・モノによる価値

セグメント別事業構成比

印刷インキ以外のビジネスで半分以上の利益

2023年12月期:売上高(外側)・営業利益(内側)

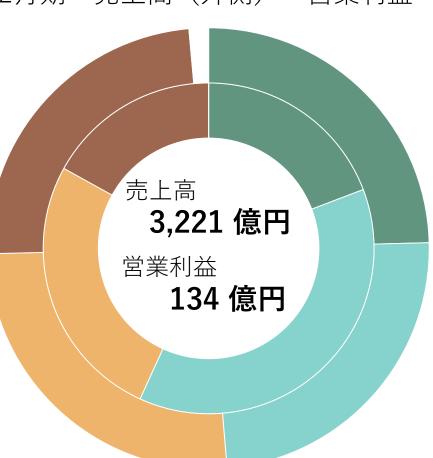
■ 印刷・情報関連事業

売上:24.0% 利益:17.0%

> ③イン<mark>キ系</mark> ビジネス

■ パッケージ関連事業

売上: 25.9% 利益: 26.2%



■ 色材・機能材関連事業

売上:24.6% 利益:19.2%

①顔料系 ビジネス

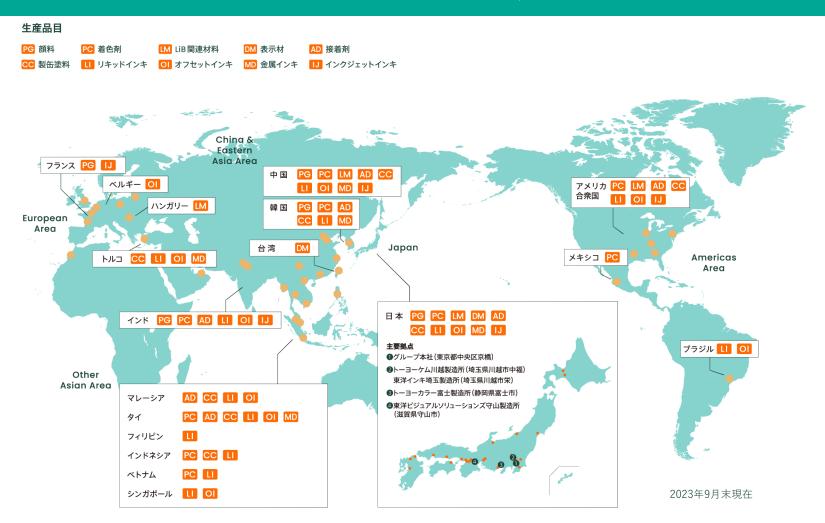
■ ポリマー・塗加工関連事業

売上:24.1% 利益:37.6%

②樹脂系ビジネス

海外売上高比率は50%以上、更なる拡大を目指す

世界24ヶ国以上でグローバルな事業活動を展開、海外売上高比率53.7% (2023年度)



インキから発展した3つのビジネス

①顔料系ビジネス

色材・機能材関連事業



印刷・情報関連事業





印刷インキ



③インキ系ビジネス

②樹脂系ビジネス

ポリマー・塗加工関連事業



パッケージ関連事業



当社製品と対象市場

1顔料系ビジネス

容器・自動車用 プラスチック 着色剤



印刷インキ・ 自動車塗料用 顔料







②樹脂系ビジネス

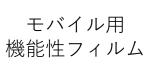
住宅塗料用 樹脂



缶コーティング



包装パッケージ用 エレクトニクス用 接着剤





③インキ系ビジネス

書籍、新聞



住宅内装



包装ラベル 紙器

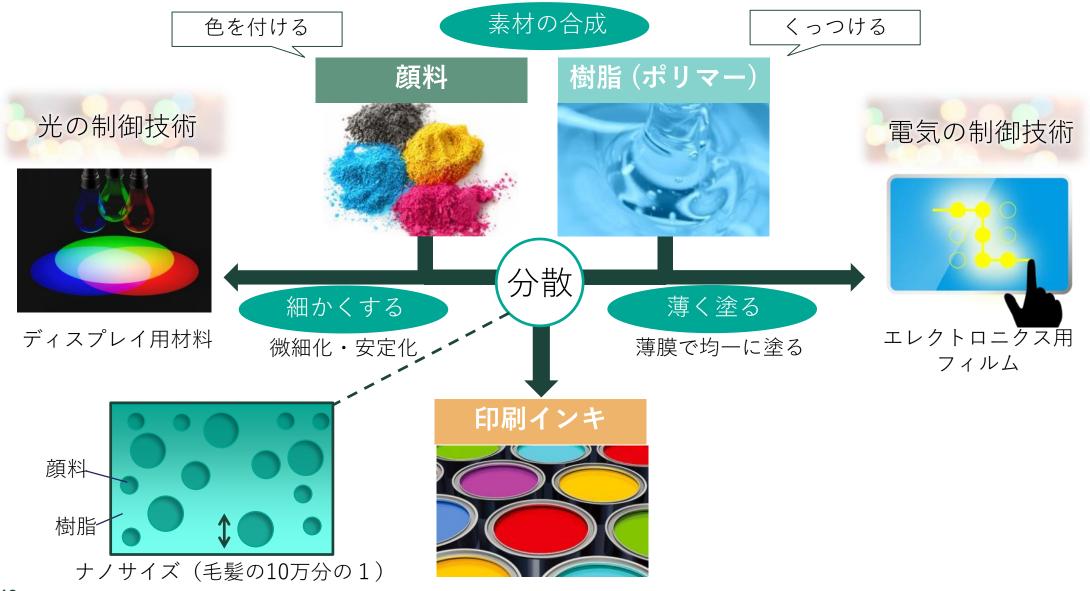


包装 パッケージ



成長期事業

当社の技術力:コア素材・技術融合で事業領域拡大



生活に密着した製品群 一二ッチ分野で数多くの高シェア製品 -

日本シェア NO.1



包装パッケージ用 インキ+接着剤 金属インキ

缶コーティング



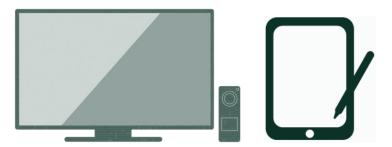






世界シェア トップクラス





エレクトロニクス用 機能性フイルム



※シェアは当社調べ

今後新たに提供していきたい"感性に響く価値"(事例)

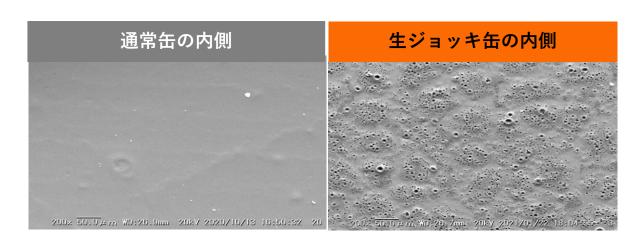
アサヒビール株式会社「生ジョッキ缶」用塗料を共同開発

従来の 価値

- 内容物から缶を守る
- 缶の金属成分が内容物へ溶出し 風味が変化することを防ぐ



缶内面に凹凸を形成し、 泡立ちを最適化





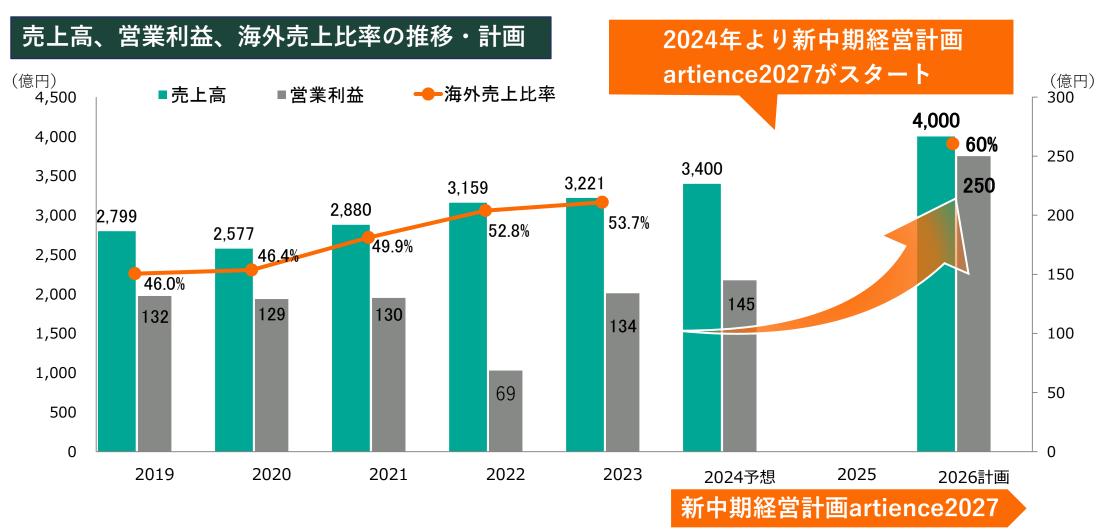
本日のご説明内容

- ■会社概要
- ■今後の事業展開
- ■株主還元



最新の業績動向(2023年度通期)

■ **増収増益**:海外での売上増で増収、構造改革・価格改定進み増益



経営計画 artience2027/2030 "GROWTH"

心豊かな未来 持続可能な社会

2023 12月期

artience2027

2026 12月期

12月期

企業価値最大化

〔目指す姿〕

3.221億円 売上高 営業利益 134億円 営業利益率 4.2% ROE 4.2% 売上高 4,000億円 営業利益 250億円 営業利益率 6.3% ROE 7.0%以上

売上高 5,000億円 ROF 10.0%以上

2029

事業ポートフォリオの変革

資本効率と キャッシュフローの最大化

企業基盤構築と サステナビリティ経営実践 高収益既存事業群への変革

成長事業の 拡大

収益基盤事業の 利益向上

不採算事業整理 戦略再構築

戦略的重点事業群の創出

モビリティ ・バッテリー ディスプレイ・ 先端エレクト ロニクス

次世代事業 (環境・バイオ ・エネルギー)

経営基盤の変革

ヒト/風土/組織 エンゲージメント DE &I

カネ CFマネジメント 資本効率化

モノづくり asv2050/2030 SCM

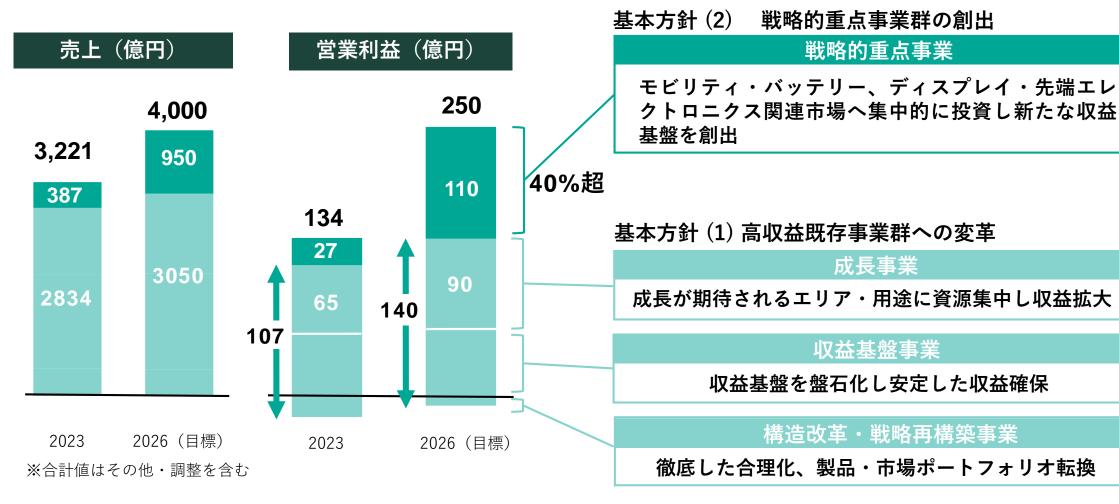
情報/DX

デジタル変革 SAPの最大活用

技術/知的財産 技術基盤構築 攻めの知財活用

基本方針(1)(2)による事業ポートフォリオ変革

- グローバルなど成長市場での事業拡大(海外売上高比率23年53.7%⇒26年60%以上)
- 戦略的重点事業で収益の柱を創出する(戦略的重点事業を全社営業利益の40%超へ)



基本方針(1)高収益既存事業群への変革:成長事業の代表例



包装パッケージ用材料を海外市場で拡大

- パッケージ市場の動向
- 人口増加に比例して拡大、需要堅調
- 環境意識の高まり
- 当社の強み
- 構成材料のトータルソリューション
- 環境調和型製品の多彩なラインナップ

■ 海外拠点の設備投資を拡大

粘着剤

ラミネート 接着剤

米国・中国・インド・韓国・トルコ・マレーシア (設備新設・増強・21~24年稼働予定)

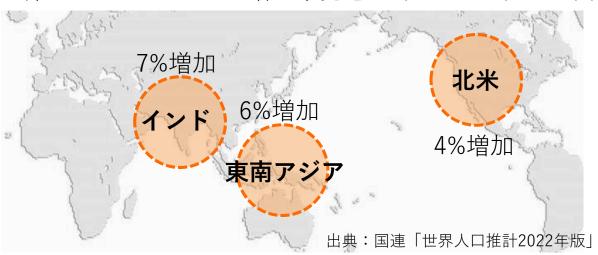
グラビアインキ

中国(江門) (新工場 稼働)

トルコ (新工場 建設中・24年稼働予定)

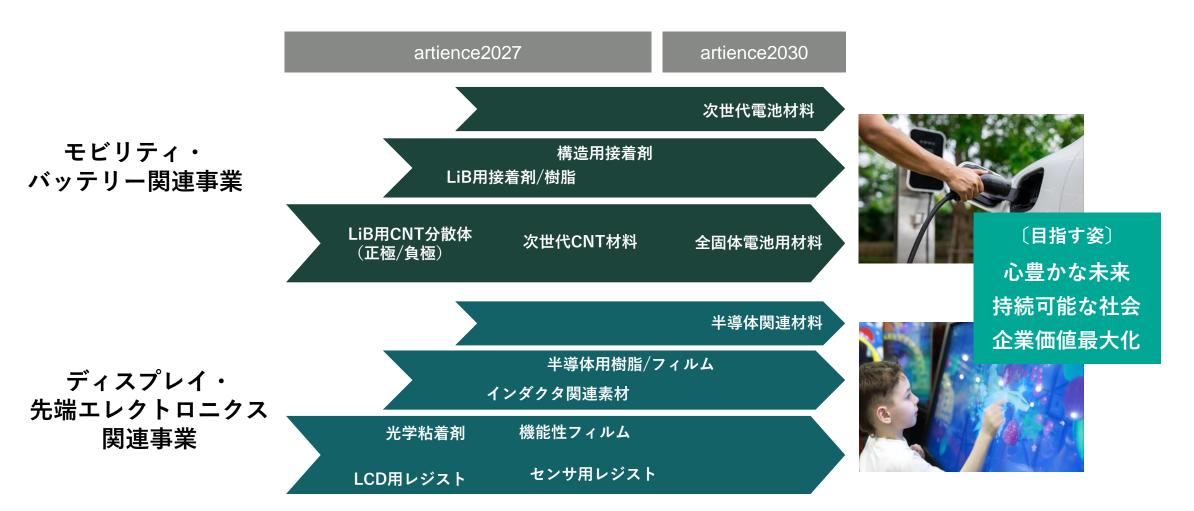
インド (第2工場 稼働)

当社重点エリアと人口増加率見通し(2030年予測(2022年比))



基本方針(2)戦略的重点事業群の創出

■グループが目指す心豊かな未来の実現に向け、artience2027では2つの戦略的重点事業領域に集中



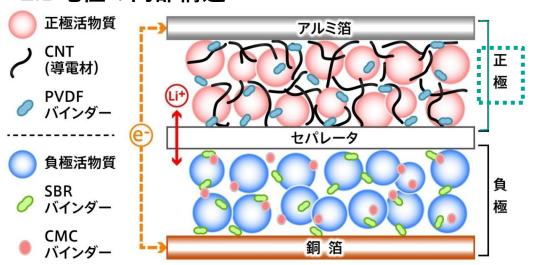
基本方針(2)モビリティ・バッテリー関連事業:LiB用CNT分散体①



独自の分散技術で開発したLiB正極材用 カーボンナノチューブ分散体事業を拡大

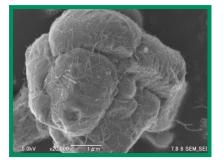
- LiBの高容量化・EV航続距離伸長 に寄与
- 小型化/充電スピード向上/耐久性向上 に寄与

<LiB電極の内部構造>



<正極材の原材料>

- ①活物質 ②バインダー ③溶剤
- ④導電助剤(CNT)





活物質表面に均一に吸着したCNT 正極用導電助剤「CNT分散体」

分散をコア技術とした進化の歴史

長年蓄積してきた分散技術をLiB用材料へ展開

車載用LiBで長年の実績

 \sim 1990



自動車塗料用 顔料分散体

1990~

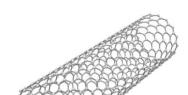


データストレージ テープ用CB分散体

2015~



LiB正極用 CB分散体



2019~

CNT分散体

導電カーボンブラック(CB)の 微細分散技術を開発 データストレージテープ用途で 採用

HEV (ハイブリッド車) 向け LiBに採用 電池向けブランド LIOACCUM® 誕生

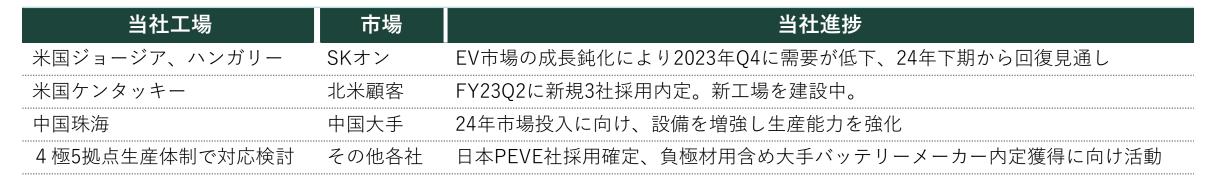
LiB正極用

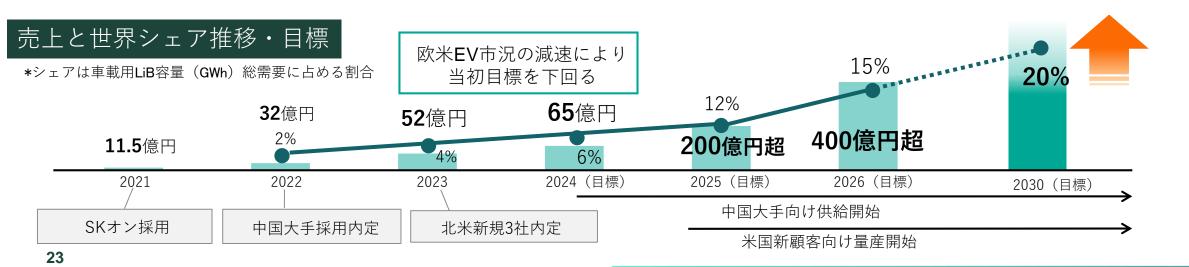
次世代導電材料CNT(カーボンナノ チューブ)を独自技術で分散した LIOACCUM®がEV向けに採用 基本方針(2)モビリティ・バッテリー関連事業:LiB用CNT分散体③

事業概況と今後の計画

- ■2030年を見据え、投資計画を250億円超から490億円超へ増額
- ・日本政策投資銀行から150億円を調達
- ・本中計期間24~26年では300億円の投資を計画(既に実施分150億円)
- ■分散技術と4極5拠点生産体制の強みを活かし事業拡大

投資計画(累計) 250億円超 増額 **490億円超**23年8月時点計画 24年2月時点計画





基本方針(3) 経営基盤の変革

■ サステナビリティビジョンasv2050/2030の推進 2050年カーボンニュートラル達成、2030年SDGs達成へ貢献 生産プロセス革新による環境負荷低減

■ 気候変動対応の推進(TCFD開示含む)

ヒト/風土/組織を変革

■ 人的資本の強化 新人事制度導入、人材育成制度改革、エンゲージメント向上

■ 多様性の促進 DE&Iの推進、国内女性管理職比率向上(23年5.5%⇒26年7%目標)

G

- ガバナンス体制の強化(SR・IRの強化など)
- 保有株式削減の継続

- ✓ 厳しさを持ちながらも 魅力のある活気と規律 のある組織・風土へ
- ✓ デジタル技術 / AI活用 による生産性向上・価 値創出へ
- ✓ asv2050/2030に基づく 社会的責任への対応
- ✔ 新理念体系に基づく artienceブランドの構

情報/DX

│■ デジタル変革、SAPの最大活用

技術/知的財産 ■ テクニカルプラットフォームの 再構築、攻めの知財活用

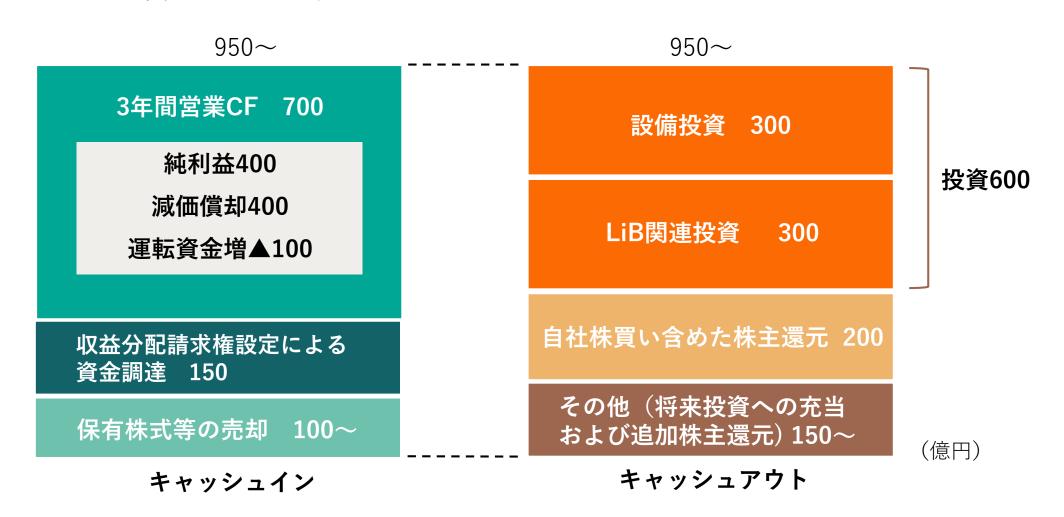
本日のご説明内容

- ■会社概要
- ■今後の事業展開
- ■株主還元



株主還元について① 資本政策およびキャッシュアロケーション

■ 将来成長への投資を優先しつつ、積極的な株主還元も検討

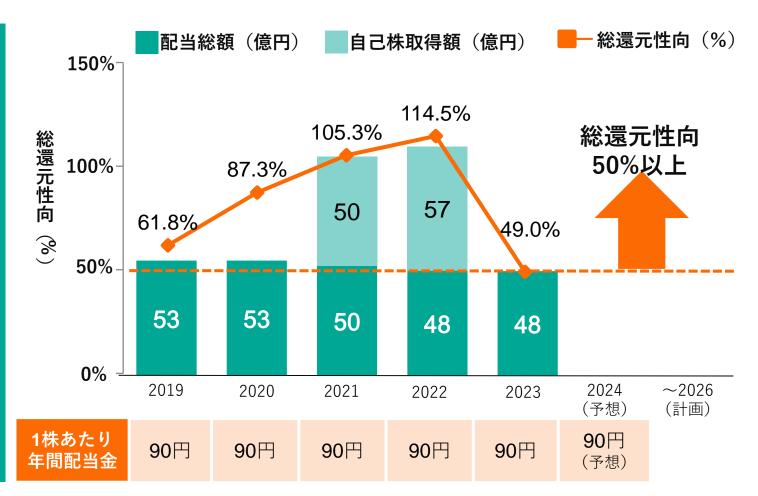


株主還元について②

- 株主優待制度 2019年より導入
- **株主還元方針** 総還元性向目標を導入し、利益成長に合わせて株主還元水準の向上を目指す

● 安定配当を基本としつつ、 利益達成時のキャッシュの 余剰を戦略投資および自社 株取得などの株主還元増へ 充当する

● 総還元性向50%以上とする



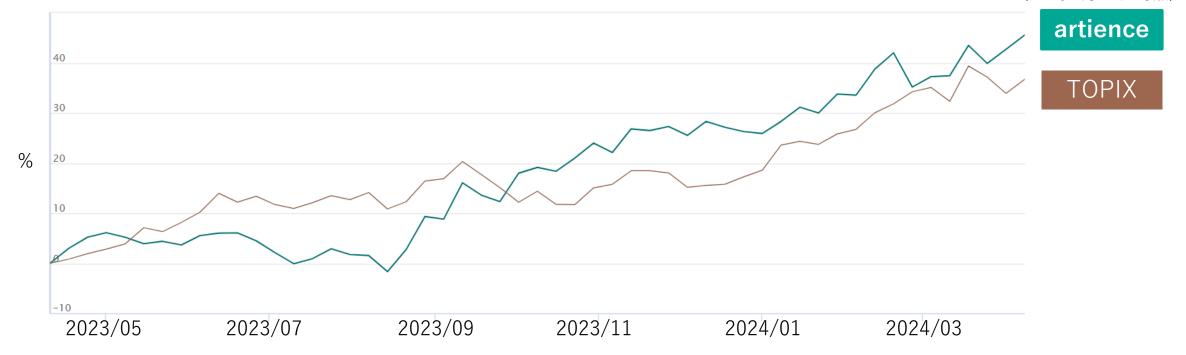
株価トレンド

2023年度後半より株価上昇基調が続く

- 2023年1月よりIR体制を強化、低PBRの改善を目指す
- リチウムイオン電池用CNT分散体事業説明会の開催など情報発信を強化
- 2023年10月から7年ぶりにアナリストカバレッジが開始

PBR 0.65倍

(24年4月12日時点)



出典 https://www.artiencegroup.com/ja/corporate/ir/stock-information/stockprice.html

本日お伝えしたいこと

1 新社名artienceへ変更、会社を変えていきます

2 EV向けリチウムイオン電池用材料が成長の柱です

3 安定配当と利益成長に合わせた株主還元水準の向上を目指します

最後までご覧いただき、ありがとうございました!

artience

- IRに関するご質問・お問い合わせ先 ir@artiencegroup.com
- 当社の詳しい情報はウェブサイトもご覧下さい。 https://www.artiencegroup.com

(ご参考) 株主優待:カタログ



(ご参考) 社外からの評価

インデックスへの採用状況

2024 CONSTITUENT MSCI日本株 女性活躍指数 (WIN)



FTSE Blossom Japan Index

2024 CONSTITUENT MSCI日本株 ESGセレクト・リーダーズ指数



FTSE Blossom Japan Sector Relative Index





外部認定の状況













※artience株式会社のMSCIインデックスへの組み入れ、およびMSCIロゴ、商標、サービスマーク、またはインデックス名称の使用は、MSCIまたはその関連会社による artience株式会社の後援、推薦またはプロモーションを意味するものではありません。MSCIインデックスはMSCIの独占的財産です。MSCIおよびMSCIインデックスの名称とロゴは、MSCIまたはその関連会社の証憑またはサービスマークです。

※FTSE Russell(FTSE International LimitedとFrank Russell Companyの登録商標)は、ここにartience株式会社が第三者調査の結果、FTSE Blossom Japan IndexおよびFTSE Blossom Japan Sector Relative Index組み入れの要件を満たし、本インデックスの構成銘柄となったことを証します。FTSE Blossom Japan IndexおよびFTSE Blossom Japan Sector Relative Indexは、サステナブル投資のファンドや他の金融商品の作成・評価に広く利用されます。

注意事項:

当社ならびに当社グループによる開示情報には、業績予想や将来予測に関する情報が含まれる場合があります。これらの情報は、 開示時点で入手可能な情報および合理的であると当社が判断する一定の前提に基づくものであり、さまざまなリスク要因や不確実 な要素により、実際の結果と異なる可能性があります。

当社ならびに当社グループによる開示情報は、ステークホルダーに当社への理解を深めていただくための情報提供を目的としており、投資勧誘を目的とするものではありません。当社ならびに当社グループによる開示情報に関連して発生した金銭的あるいは非金銭的な損害に対しては、当社は一切の責任を負いかねますのでご了承ください。

表記の金額は億円未満について四捨五入しております。